



大塚先生コラム

ぜんそくの話その2：今回はぜんそくの治療目標についてです。

前回お話したとおり、ぜんそくの患者さんがもっている気道の過敏性は、急に良くなるものではありませんので、ぜんそくの治療目標は「症状・発作の発生をコントロールし、制限のない日常生活を送ること」です。そのために生活習慣の改善(家族の禁煙・アレルゲンの回避・適度な運動・バランスのよい食事)及び、薬物療法が必要となります。薬物は、気道の炎症を抑える治療(抗ロイコトリエン薬・吸ステロイド薬)気道を広げる治療(長時間可用性β₂刺激薬)があり、これらの薬が開発され普及した事でぜんそくのコントロールはとてよくなりました。



病児保育のおはなし



病児保育とは、病気の子どもに適した保育や看護を行うことです。また子どもの発達段階や心理状態を踏まえた専門性が求められます。子どもは1日のほとんどをあそびに費やしており、病気になったときも、遊びを通じて、子どもの心と身体は日々発達していきます。また、病気になると、不安感や不快感など、健康な状態の時とは違った気持ちを抱きます。体調を崩していることに加え、馴染みのない人や場所ということもあり、不安を抱える子どもも多いです。そのため、子どもに安心感を与えるかわりと、発達段階を考慮した環境づくりを日々心がけています。そして子どもの状態を観察し、保育士と連携しながら楽しく過ごせるように努めています。

病児保育専門士(看護師) 大山

ファイト～!!



小児科外来より

小児科外来では、これまでにない早い時期にインフルエンザ罹患者がでました。大きな広がりはありませんでしたが、これからの時期はインフルエンザや胃腸炎などの感染症流行期になります。手洗い・うがいの徹底につとめましょう。

病児保育室はっぴいの利用状況は下記の通りです
(受入れ人数一日3人) 2019/09/01~2019/09/30

	0~1	2~3	4~6	学 童	合 計
能代市	11	12	3	0	26
山本郡	1	3	2	0	6
その他	0	0	0	0	0
合 計	12	15	5	0	32



10月はハロウィンのリース飾りを作ってあそびます♪ルンルン

はっぴい

独立行政法人地域医療機能推進機構(ジェイコー)秋田病院

病児保育室はっぴい

〒016-0851 秋田県能代市緑町 5-22 3階ナースステーション隣り

T E L (代表) 0185-52-3271 (予約・問い合わせ) 090-8924-4253

アドレス happy@akita.jcho.go.jp ※メールでの予約対応はいたしません

